



万騎が原地域

少子高齢化の地区、人口増加率が高い地区などがある地域です。



人口 45,226人



6歳未満児数(率) 2,848人(6.3%)



世帯数 21,075世帯



高齢者数(率) 7,518人(16.6%)



出生数 539人

万騎が原地域ケアプラザ地域

懇談会開催日

第1回目 平成16年 9月26日

第2回目 平成16年11月14日

第3回目 平成17年 1月22日



支えあい連絡会開催日

第1回目 平成17年 6月 6日

第2回目 平成17年 9月 5日

第3回目 平成17年12月 5日

地域の主な福祉保健活動

- ◆ 4連合自治会の子育てネットワーク (クローバーの会)
- ◆ かけはしねっと
- ◆ 有償ボランティアグループ (桐の会・リトルサービス)
- ◆ 三世代ふれあい事業



様々な取り組みや活動の中から、子育て支援、高齢者・障害者支援、世代間交流の3つの視点で主な活動を掲載しています。

当面取り組む地域の課題

- 活動団体同士の相互交流が図れない
- 住民同士もお互い知り合うきっかけをなくしている
- 活動団体はあるが住民に知られていない

地域懇談会で、これらの課題から取り組むことが話し合われました。

地域での具体的な取り組み

取り組みの目標・テーマ

ひとりの100歩より100人の一歩

取り組みを進めるにあたっての大切にしたい点

抱えている課題をお互いに共有することからすべてが始まります。
住民個々のニーズもちろんですが、活動団体同士のニーズの共有が進めば、お互いに補完し合う関係が生まれ、活動の幅も広がっていきます。

具体的な取り組み

- まちな情報マップを作る
- 定期的な地域懇談会の開催



懇談会参加者

一般区民	地区社会福祉協議会関係者
保健活動推進員	子育てグループ関係者
幼稚園保護者	障害者施設スタッフ
障害者団体関係者	商店街関係者
中学生	

大目標

お互いに知り合う
(ひとりの100歩より100人の一歩)

大切にしたい点

互いに知り合う ニーズの把握と共有

抱えている課題をお互いに共有することからすべてが始まります。

住民個々のニーズもちろんですが、活動団体同士のニーズの共有が進めば、お互いに補完し合う関係が生まれ、活動の幅も広がっていきます。

課題

活動団体同士の相互交流が必要

住民同士がお互い知り合うきっかけづくりが必要

住民が活動団体の活動を知ることが必要

目標 テーマ

愛着がもてる地域にする

大切にしたい点

まちと人のよいところを引き出し、まちに対する愛着を育む

まちを愛する心があれば、人はむやみにまちを汚しませんし、治安の悪化も防げます。自分の住んでいる地域を誇りに思う住民を増やしていくことが大切です。そのためには、まちの中のきれいな場所をもっと地域で評価していくこと、絶えず人の目、地域の目を光らせること、子どもや若者の人格を認め、大人がきちんと関わっていくことが必要です。

課題

大人のマナーの向上

◇大人のマナーが低下している

治安・防犯対策

◇治安・防犯に対する対策が不十分である

課題、目標テーマ

目標 テーマ

一人ひとりが輝ける“活躍のチャンス”をつくる

大切にしたい点

子どもの感性をひろげる

大人と子どもの視点の置き方は全く違います。子どもの人格を認め、子どもがいきいきする環境をつくる必要があります。

課題

多様な人が心豊かに生きる

◇多様な人が心豊かに生きられる地域になっていない

目標 テーマ

“多世代交流”がはかれる場や機会をつくる

大切にしたい点

身近で便利な地域社会の情報拠点をつくる

地域に必要な情報は案外届いていません。とくに独身者、ひとり暮らし高齢者、障害者、子育てママ（パパ）は地域で孤立しがちです。彼らが地域で安心して暮らせる関係づくりを進める上で、地域の情報に触れられる場が求められています。

課題

日常的な住民活動の推進

◇住民活動の日常化が必要

近所つきあいを増やす

◇近所つきあいが少ないところもある

気軽に集まれる場の整備

◇気軽に集まれる場がほしい

子育て環境の整備

◇子育て環境が十分に整うことが必要

歩行者の安全確保

◇歩行環境が安全ではないところがある